

報告事項コ

平成25年度美術品の購入について

平成25年度美術品の購入について、別紙のとおり報告します。

平成25年9月6日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

平成25年度美術品の購入について

平成25年9月6日
博 物 館

鳥取県美術品取得基金を活用して以下の美術資料(5点)を購入する予定である。

購入予定作品

NO	分野	作家名	購入理由	作品名 制作年 (和暦)	材質技法 (員数) 寸法H×W×D (cm)	購入予定価格 (単位:千円)
1	西洋絵画	モーリス・ド・ヴラマンク Maurice DE Vlaminck (1876-1958)	【本県出身作家(前田寛治)とつながりをもつ国内外の作家の優れた作品】 前田寛治はフランス留学中にヴラマンクを訪れ影響を受けている。セザンヌ風の構成を基本としながら、色面によって対象をとらえた本作は、緊張の中にゆとりがあり、空間に広がりを感じられ、作家の時代的特徴を明確に示している。博物館が収蔵するに値する十分なクオリティを有した作品である。	あかいやね 赤い屋根 1912-14年頃	油彩・カンヴァス 59.5×71.5	20,000
2	日本画	すが たてひこ 菅 楯彦 (1878~1963) 鳥取市出身	【本県出身作家の優れた作品】 本作は有職故実の研究家でもあった楯彦が、衣装の細部に至るまで正確に表現し、のびやかに舞う男児たちの姿を表情豊かに描きあげた晩年の大作であり、作家の画歴を辿る上で重要な作品である。	ぶがくこちょう 舞楽胡蝶 1962年 (昭和37年)	紙本着色 (一幅) 104.5×150.8	2,998
3		すが たてひこ 菅 楯彦 (1878~1963) 鳥取市出身	【本県出身作家の優れた作品】 本作は大仏を正面からではなく向かって左側面後方から描くことで、大きな手をクローズアップした面白い構図となっている。 楯彦は、浪速風俗や舞楽・有職を画題とした作品を得意とし多数制作しているが、時に本作のようなユーモラスな作品を描いている。こうした楯彦の多彩な一面を示す重要な作例である。	びるしゃなのみて 毘盧遮那の御手 1934年 (昭和9年)	絹本着色 (一幅) 140.5×28.5	350
4		こばやかかわ しゅうせい 小早川 秋聲 (1888~1974) 15歳~16歳まで父の故郷 の日野町で育つ (兵庫県出身)	【本県出身作家の優れた作品】 現在当館が所蔵している小早川作品は、初期の作品のみであり、作家の画業を紹介するには偏りがある。 小早川71歳の年に制作された本作は、従軍画家として戦争を経験した小早川の戦後の平和思想を表した作品であるとともに、観ていても楽しく学校教育をはじめとする普及活動にも活用が可能である。	てんかわじゅん 天下和順 1956年 (昭和31年)	絹本金地着色金泥 (一幅) 129.0×56.4	1,500
5	近代彫刻	つじ しんどう 辻 晋堂 (1910~1981) 日野町出身	【本県出身作家の優れた作品】 本作は、のちに国際的な評価を受けることになる大作のシリーズの出発点と位置づけられる重要な作品である。「考える人」のパロディとしても興味深い作品と考えられる。	にんげん 人間 (椅子に座っている人物) 1957年 (昭和32年)	陶彫 82.0×35.5×28.5	4,410
計				5点		29,258

【参考：近年の購入状況】

年度	購入金額 (千円)	内 訳	
H24	33,890	53点	絵画19点、写真31点、彫刻3点
H23	36,855	13点	絵画8点、彫刻2点、工芸3点
H22	33,660	44点	絵画2点、写真40点、彫刻2点

【購入作品画像一覧】



①モーリス・ド・ヴラマンク 《赤い屋根》



②菅楯彦 《舞楽胡蝶》



③菅楯彦 《毘盧遮那の御手》



④小早川秋聲 《天下和順》



⑤辻晋堂 《人間 (椅子に座っている人物)》